

常緑 / 中高木 / 木本植物 / 在来種



科名 マツ科マツ属 (APGⅢ)

特記 生長：やや遅い、針葉樹

白砂青松といわれるように、風格ある独特の樹形は風致的に優れた海岸林を形成し、砂防、防潮など防災機能を担う。庭木としては、樹形や幹肌に趣があり、主木や門冠(もんかぶり)に利用される。2葉性の葉は、アカマツに比べ太く硬いため、雄松(おまつ)とも呼ばれる。



Memo

クロマツは、沿海地の岩場に自生する。砂防、防潮目的で砂浜に植林されるため、勘違いしやすい。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期					■ (鑑賞には向かない)								
果 実											■ (翌年の秋に成熟)		
紅 葉													
施 肥	(不要)												
剪 定		■				■ (緑摘み) (揉み上げ)					■		

好みの環境				
日当り	陽	◎	○	陰
土 壤	乾	○	○	湿
寒 さ	強	○		弱
暑 さ	強	○		弱
潮 風	強	○		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○					○	

ポイント

マツの植え付け時期は、休眠期の2～3月。陽樹のため、日当りを好むが、排水の良い貧栄養な土壤に適応できる。庭園では、季節ごとの手入れや維持に手間と費用がかかる。

剪 定

上へ生長する傾向が強く、下枝が衰退する。そのため樹冠に枝がかたまる樹形になりやすい。幹肌と枝振りを生かした剪定がおすすめ。庭園では、新梢の「緑摘み」や古葉の「揉み上げ」が欠かせない。

病虫害

「松くい虫」と呼ばれるマツノザイセンチュウによる枯れの被害がある。また、マツカレハの幼虫により葉が食害を受けることがある。

呼べる鳥



[ヤマガラ](#)・シロハラ・[ヒガラ](#)
[ホオジロ](#)・[マヒワ](#)・ビンズイ
[キジバト](#)・[カワラヒワ](#)・[スズメ](#)
[シジュウカラ](#)・[シメ](#)